

梅雨シーズンに起こりうる危険を 予測するために知っておきたいこと。

近年の地球温暖化に伴う気候変動により、
大雨の発生件数が増えています。

こんなときは

すぐに川から離れましょう!

- カミナリが聞こえたとき。
- 水が増えてきたとき。
- 空に雨雲が見えたとき。
- 雨が降ってきたとき。



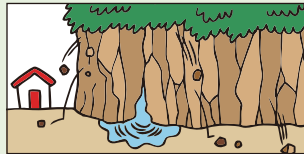
土石流の兆候とは?

- 雨が降っているのに川の水位が下がる。
- 地鳴りが聞こえる。



がけ崩れの兆候とは?

- 小石がぱらぱらと落ちてくる。
- がけから水が湧き出ている。
- がけに割れ目が見える。



地すべりの兆候とは?

- 沢や井戸の水が濁る。
- 地面がひび割れる、または凹んでくる。



このたびの東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災地支援につきましては、県民の皆様からさまざまなご支援をいただいております。心よりお礼を申し上げますとともに、皆様を誇りに思います。

県では、これからも被災地の状況に応じた継続的な支援を行うこととしておりますので、県民の皆様方にも、引き続き息の長いご協力をお願いいたします。

広島県知事 湯崎英彦

これまでに県民や企業の皆様からいただいた温かいご支援と県の対応についてご紹介します。

(平成23年5月15日現在)

1 義援金

3月14日の受付開始以来、皆様からいただいた義援金はすでに25億円を超えました。義援金は日本赤十字社を通じて現地に届けられます。

2 被災地での支援

県民の皆様や企業の方々からいただいた支援物資及び県・市町の備蓄物資を、現地の要請に応じて順次提供しております。また、県職員のべ836人を被災地に派遣して、避難所の運営、健康相談、災害復旧などさまざまな支援活動を行っています。

3 被災者の受け入れ

県民の皆様や企業の方々からの無償での借家・社宅等の提供及び公営住宅550戸の提供について、県ホームページ等を通じて被災者に届くように情報発信しています。

お問い合わせ 危機管理課 ☎082(513)2784

人口 2,851,824人(昨年同月より4,839人減)
世帯数 1,184,633世帯(昨年同月より6,143世帯増)
男 1,377,478人 女 1,474,346人
※平成23(2011)年4月1日現在 出典:広島県人口移動統計調査

次回の県民だよりは8月6日(土)に新聞にも掲載します。

「ひろしま夢ぷらざ」の
売れ筋商品のセットを

5名様

プレゼントの発送は
7月中旬を予定しております。

※当選発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

【応募先】〒730-8511(住所不要)広島県庁広報課「プレゼント」係
はがきに住所・名前(ふりがな)・年齢(○歳代)・県民だよりのご感想
(今回の掲載内容についてのご感想、または今後取りあげてほしい
テーマ)を明記の上、郵送してください。6月25日(土)消印有効
※ご応募はお一人様1回のみの有効となります。

※個人情報、プレゼントの発送と読者層の調査のために利用します。

広報課

☎ 082(513)2373

FAX 082(228)4429

県ホームページ 広島県の広報 から、

掲載内容の関連情報をご覧いただけます。

携帯電話から情報をご覧の場合は、右のQRコードを読み取ってください。>>>

